

令和7年9月4日

東北町議会議長 田 嶋 悟 殿

産業建設常任委員会
委員長 笹 倉 健

所管事務調査報告書

本委員会は所管事務の調査について、下記のとおり会議規則第47条の規定により報告します。

記

- 1 開催期日 令和7年8月21日（木）
- 2 開催場所 役場議員控室
- 3 調査事項

（1）所管事務調査

- ①建設課 ・緊急自然災害防止対策事業について
- ②農林水産課 ・鳥獣被害等について
- ③上下水道課 ・上下水道事業管路耐震化について（更新計画）

4 調査結果

本委員会は、閉会中の調査事項でありました所管事務について、町側から副町長及び担当課長の出席を求め、開催しました。

調査の方法は、町側から説明を求め、その後質疑を行いました。

以下、調査の概要と質疑等のありました主なものについて、報告いたします。

建設課

・緊急自然災害防止対策事業について

緊急自然災害防止対策事業債（緊急自災）

【対象事業】

舗装補修、側溝整備、法面对策、除雪機械購入、機械設備補修、防雪柵修繕など

【特徴・メリット】

1. 各自治体の財政事情に合った計画的な執行が可能
(1) 各自治体の計画に応じて事業費の確保および工区設定が可能。
(2) 交付税措置により実質負担は3割。
(3) 単独費として取扱うことから、工法選択の自由度が高い。
2. (R7 拡充) 凍上対策として路盤からの舗装補修も対象
3. 交付金事業に比べて簡素な申請手続き
事業計画と執行予定表のみの提出（年間4回受付）

【質疑】防雪柵の計画箇所は、どのぐらい残っていますか。

【回答】町道甲地・蓼内線と、今現在小川原の町道 519 号線のところをやっている状況です。集中的にやったので進んではきていますが、今設計をしている町道大池1号線の部分については、設計が上がったら整備したいと考えています。この緊急自債の中で道路補修と防雪柵は並行していきたいと思っており、候補地ももっとあるので、今後そこを調査しながら順次進めていきます。

【質疑】道路のセンターラインや信号の停止線が消えている箇所が多く見られるが、消えている白線を引くのは対象になりますか。

【回答】建設課で白線を引く事業というのはなく、舗装補修事業や改良事業を介して白線を引いてきています。総務課の交通安全対策交付金の予算で、少しずつ白線は引いてきてはいるのですが、除雪等で消えてしまうので、その辺をもう一度調査しながら、総務課と協議し進めていきたい。

農林課

・鳥獣被害等について

①令和7年4月以降の出没状況について

	8/15現在	参考	
		昨年8/15現在	昨年度トータル
熊	20	17	20
イノシシ	11	5	10
サル	5	5	25
その他	3 アライグマ、ニホンジカ	—	—

②作物被害について

1) 熊の被害

	日にち	場 所 (地区名)	農作物名	被害面積 (a)	被害状況	対応
1	6月27日	上板橋 地区	馬鈴薯	2.0	植付直後の種芋の食害と掘返し	巡回

2) イノシシの被害

	日にち	場 所 (地区名)	農作物名	被害面積 (a)	被害状況	対応
1	5月14日	横沢 地区	デントコーン	—	種子の掘返し	巡回、罠設置
2	6月4日	柵 地区	長いも	28.9	植付直後の種芋の食害と掘返し	巡回、罠設置
3	6月9日	柵 地区	長いも	20.3	植付直後の種芋の食害と掘返し	巡回、罠設置
4	6月18日	美須々 地区	長いも	10.0	植付直後の種芋の食害と掘返し	巡回、罠設置
5	6月20日	美須々 地区	長いも	10.0	植付直後の種芋の食害と掘返し	忌避剤等の対応を要請
6	6月27日	上板橋 地区	長いも	小規模	植付直後の種芋の食害と掘返し	忌避剤等の対応を要請
7	7月11日	北栄 地区	サイレージ	—	覆っているシートが破られ食い荒らされた	忌避剤等の対応を要請
8	7月28日	上板橋 地区	長いも	4.0	植付直後の種芋の食害と掘返し	忌避剤等の対応を要請
9	7月28日	横沢 地区	長いも	5.3	植付直後の種芋の食害と掘返し	耕作者が忌避機材で対応
10	7月29日	柵 地区	長いも	50.4	植付直後の種芋の食害と掘返し	罠設置
11	7月30日	柵 地区	長いも	—	新たな足跡あり	追加でくくり罠設置

③ワナ保有状況について

- ・町で現在保有している
熊用ドラム缶型_6基 、 イノシシ用箱型_6基 、 サル用箱型_1基 、 小型鳥獣用箱型_5基
- ・今後の追加予定
イノシシ用サークル型_1基 、 イノシシ用くくり型_5基

④目撃場所

- ・クマの目撃場所 上北地区 12件、東北地区 8件
- ・イノシシの被害を受けた場所
上北地区 0件、東北地区、11件 町の北側に集中している。

⑤東北町鳥獣被害対策協議会

- (1) R7年度鳥獣被害防止総合対策交付金 1,823,000円
- (2) R7年4月から青森県猟友会東北支部（東北町猟友会）が東北町鳥獣被害対策実施隊に加わり活動している。
- (3) R7年4月～6月の出動状況（実施隊）
 - ・上北町猟友会（19名） 有害駆除 99回 ワナ見回り 0回
 - ・東北町猟友会（16名） 有害駆除 47回 ワナ見回り 46回

【質疑】目撃情報があれば、そこに罠を持って行き仕掛けていますか。

【回答】現場の状況にもよります。隣に茂みがあるとか、沢から上がってくるような山があるとか、おそらく獣がそこを通ると思われる場所であれば、猟友会さんの方で罠を設置しています。

【質疑】捕獲実績はありますか。

【回答】7月に、熊1頭、イノシシ1頭を捕獲しております。

上下水道課

・上下水道事業管路耐震化について（更新計画）

(1) これまでの計画策定状況と計画内容

① 令和6年3月 東北町上水道事業管路耐震化計画の策定

・R4末時点において、法定耐用年数超過及び更新が必要な管路が146.9kmある。
最優先とする管種については石綿セメント管（23.2km）とする。
また、東北町地震ハザードマップにて上北地区小川原地区の地震危険度が高いため
両地区の更新順位を優先し、下記のとおり優先順位をつける。

A 全地区の石綿セメント管（ACP管）

B 地震危険度の高い上北地区の耐用年数超過している硬質塩化ビニル管（VP）で
口径の大きい順

C 地震危険度の高いその他地区の耐用年数超過している硬質塩化ビニル管（VP）で
口径の大きい順

② 令和7年2月 東北町上下水道耐震化計画の策定

・国土交通省通達により上下水道一体化での耐震化計画の作成を行った。
その中で、水道については取水施設から避難所等重要施設への配水管を最優先に
耐震化を図ることを求められた。

(2) 両計画を踏まえた管路耐震化の優先順について

① 石綿セメント管（ACP）のうち重要施設へ送水している配水管

② 地震危険度の高い上北地区の耐用年数超過している硬質塩化ビニル管（VP）で
重要施設に送水している配水管

③ 地震危険度の高いその他地区の耐用年数超過している硬質塩化ビニル管（VP）で
重要施設に送水している配水管

④ 全地区の石綿セメント管（ACP）

⑤ 耐用年数を超過しているその他配水管

※各項目の中においては、漏水頻発箇所を優先的に実施する。

基本的には、口径φ100以上についてはダクタイル鋳鉄管（DIP-GX）へ更新する。
枝線、小口径については配水用ポリエチレン管（HPPE）、ポリプロピレン管（PP）を
活用することとする。

(3) H30～R6までの更新状況

・防衛省所管事業（特定防衛施設周辺整備調整交付金）

① 向山地区配水管更新事業 実施延長 L=1,540m

② 大浦地区配水管更新事業 実施延長 L=653m

・国土交通省所管事業（社会資本総合整備・防災安全交付金）

③ 県道上野十和田線配水管布設替事業 実施延長 L=751m

(4) R7以降実施予定事業

・防衛省所管事業（特定防衛施設周辺整備調整交付金）

① 向山地区配水管更新事業 計画延長 L=121m

② 大浦地区配水管更新事業 計画延長 L=277m

③ 大洞地区配水管更新事業 計画延長 L=1850m

・国土交通省所管事業（社会資本総合整備・防災安全交付金）

④ 県道上野十和田線配水管布設替事業 計画延長 L=501m

⑤ 県道七戸上北町（停）線配水管布設替事業 計画延長 L=1,985m

また、他補助事業等の創設等により活用ができる場合は検討し、事業推進を図ることとする。

建設課

- ・ 補正予算の概要説明

農林水産課

- ・ 補正予算の概要説明

商工観光課

- ・ 補正予算の概要説明

上下水道課

- ・ 補正予算の概要説明

農業委員会

- ・ 補正予算の概要説明

その他